

見ているだけで楽しくなる！ 昭和のポータブル・レコード・プレイヤー集

“大量生産”→“使い捨て”
時代の徒花111台の
総天然色写真集



1960~70年代を中心に製作されたポータブル・レコード・プレイヤーは、市井の人々が音楽を楽しむ機器として、“作り捨て”のように大量生産され、時代とともに“使い捨て”られてきた、時代の徒花のような製品です。しかし現代の目で見てみると、小さい筐体にいろいろな機能（ラジオ、カセットからエコー、リズム・ボックス、鍵盤まで）を詰め込むことで、デザイン的にも面白く、フォルムだけでも楽しめるような製品も多くあります。本書では、そんなポータブル・レコード・プレイヤーを111台も召喚し、美麗写真（総天然色!）でお見せします。

CONTENTS

- PART1 ポータブル・プレイヤー前史
- PART2 爛熟のポータブル・プレイヤー全盛期
- PART3 おもしろプレイヤーあれこれ
- かわいい、おもちゃプレイヤーたち 岡村みどり・談
- 雑談 田口史人+湯浅学



見ているだけで楽しくなる

111台の

総天然色写真集



●発売:11月25日 ●著者:田口史人 ●定価:(本体2,500円+税)
●A5判/240ページ ISBN978-4-8456-2722-6

PROFILE ● 田口 史人(たぐち ふみひと)

1967年神奈川県生まれ。高円寺円盤/リクロ舎店主。90年頃から音楽ライターとして活動。同時に新作、旧音源の復刻などのCD制作を始めた。これまでに300タイトル以上を発表。現在は店の営業と並行して、全国各地で「レコード寄席」という出張トークショーを行っている。著書『レコードと暮らし』(夏葉社)

| 貴店印 | ご担当者様名 | タイトル | ご注文数 |
|-----|--------|---|------|
| | | <p>【新刊】立東舎 書籍</p> <p>日本のポータブル・レコード・プレイヤー-CATALOG</p> <p>定価:(本体 2,500円+税) ISBN978-4-8456-2722-6</p> | 冊 |